

## 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（物件事故除く）

- 1 本資料は、千葉県内で発生した安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が業務中又は通勤中に関係した人身事故を抽出・分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

### 1 県内の発生状況（平成31年3月末現在）

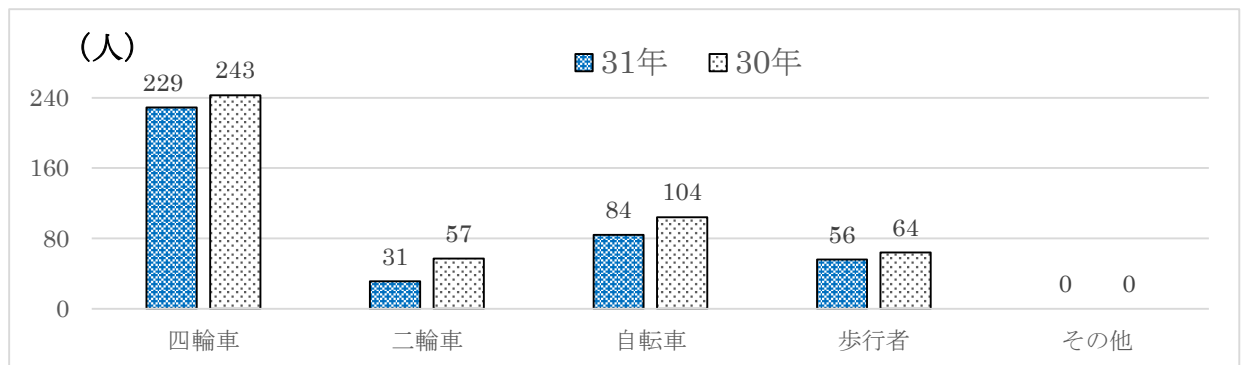
	3月中				累 計				
	31年	30年	増減数	増減率	31年	30年	増減数	増減率	
発生件数	135	152	-17	-11.2	332	404	-72	-17.8	
昼	日の出1時間後	7	8	-1	-12.5	31	44	-13	-29.5
	その他昼	78	92	-14	-15.2	177	217	-40	-18.4
	日の入1時間前	13	10	3	30.0	22	18	4	22.2
	昼計	98	110	-12	-10.9	230	279	-49	-17.6
夜	日の入1時間後	17	16	1	6.3	37	46	-9	-19.6
	その他夜	19	22	-3	-13.6	54	67	-13	-19.4
	日の出1時間前	1	4	-3	-75.0	11	12	-1	-8.3
	夜計	37	42	-5	-11.9	102	125	-23	-18.4
死者数	2	5	-3	-60.0	5	6	-1	-16.7	
負傷者数	156	172	-16	-9.3	395	462	-67	-14.5	
重傷者数	10	14	-4	-28.6	24	40	-16	-40.0	
軽傷者数	146	158	-12	-7.6	371	422	-51	-12.1	

#### ○ 概略

3月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、前年同期に比べ発生件数と死傷者数はともに減少しましたが、死者数の減少は1人にとどまっています。死者数が平成29年の3倍以上となった昨年と同程度の厳しい状況が続いていますので、引き続き安全運転管理の徹底をお願いします。

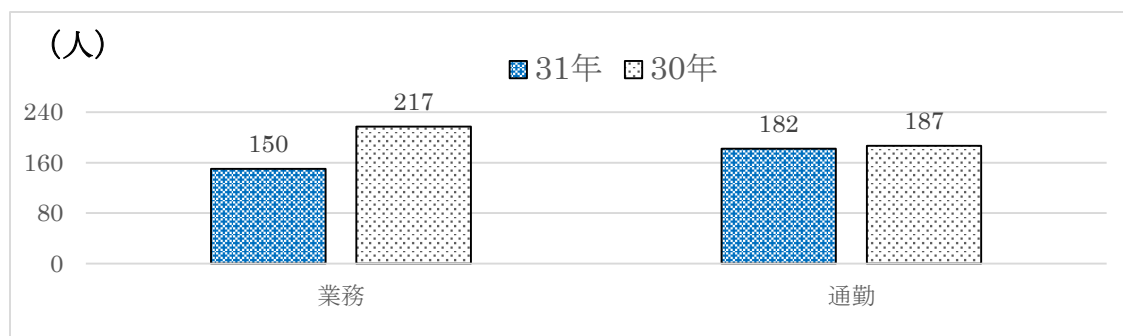
- 3月中の発生件数は135件（前年比-17件）、負傷者数は156人（同-16人）と減少しました。

### 2 死傷者の状態別



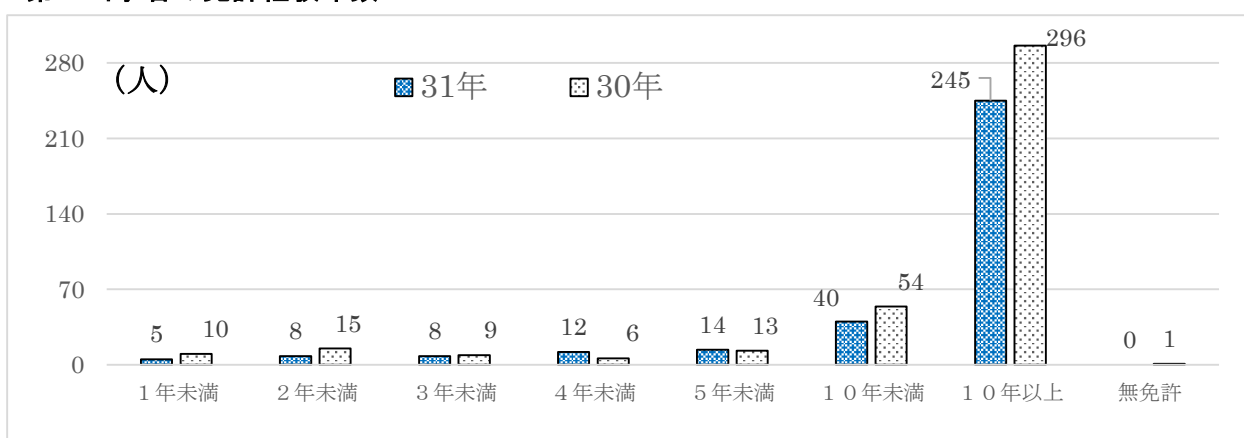
- 死傷者の状態別では、四輪車乗車中が最も多く229人（57.3%、前年比-14人）、次いで自転車乗車中が84人（21.0%、前年比-20人）であり、他の状態も減少しています。

### 3 第1当事者の運行目的



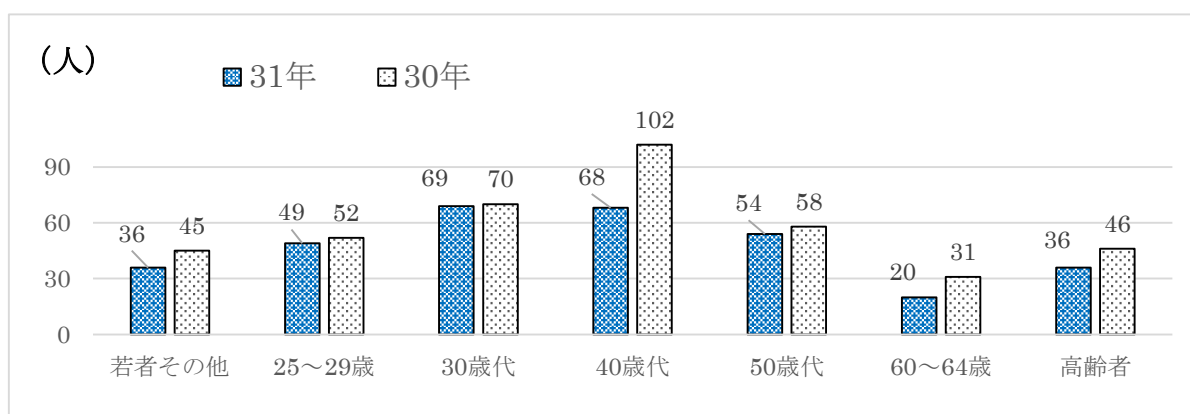
- 第1当事者の運行目的は、業務中が150人（45.2%、前年比-67人）と大幅に減少した結果、通勤途中は182人（54.8%、同-5人）と31年はその比率が逆転しました。通勤中の事故を防止するため、見通しの悪い交差点が多い裏通りは避けるなど、通勤経路の見直しを推進して下さい。

### 4 第1当事者の免許経験年数



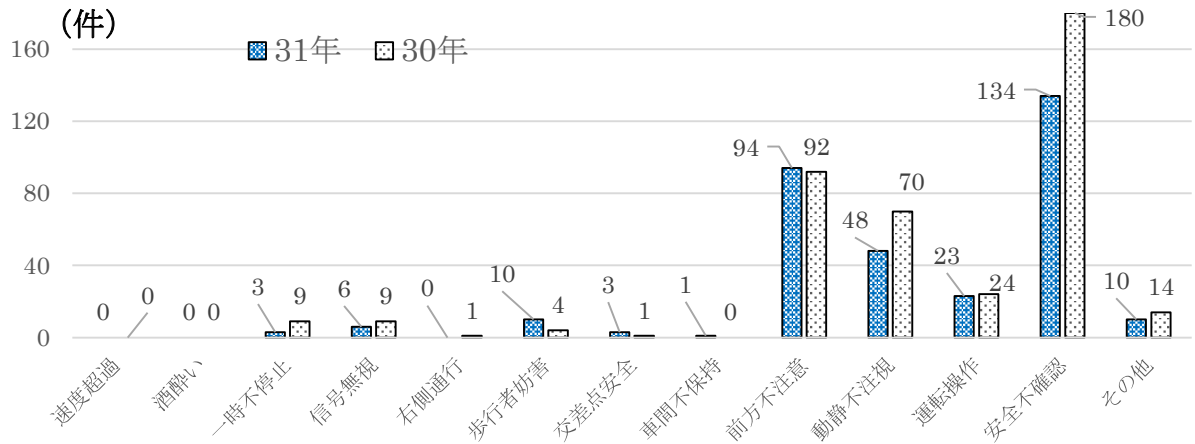
- 第1当事者の免許取得経過年数別では、経過年数10年以上の者が245人（73.8%、前年比-51人）と最も多く、次いで5年以上10年未満の者が40人（12.1%、同-14人）でした。1年未満から5年未満の者の合計は47人（14.2%、同-6人）でした。運転経験の少ない従業員に対する安全教育はもとより、ベテラン従業員に対してもきめ細かい安全教育が必要です。

### 5 第1当事者の年齢層



- 第1当事者の年齢層は40歳代が68人（20.5%、前年比-34人）と大幅に減少し、30歳代が69人（20.8%、前年比-1人）となったため、30歳代と40歳代の順位が逆転しています。

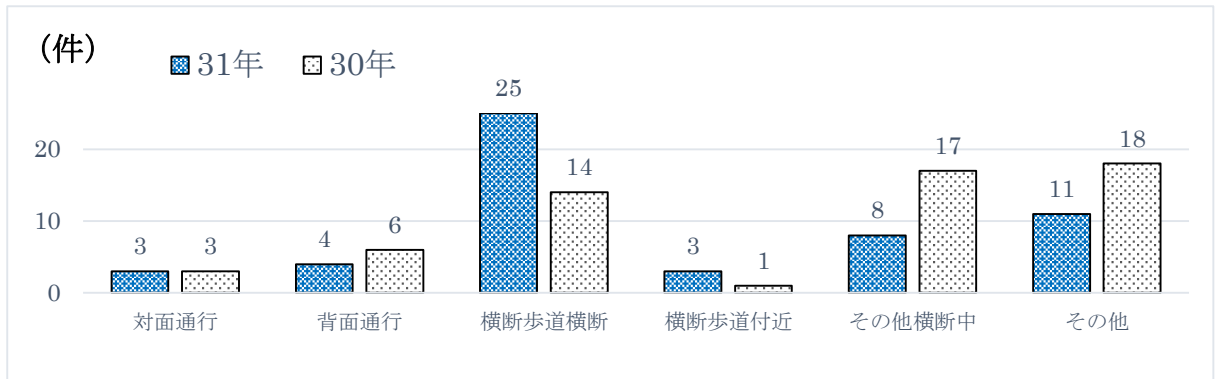
## 6 第1当事者の違反・原因別



○ 事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計 299 件で事故原因の 90.1%を占めています。

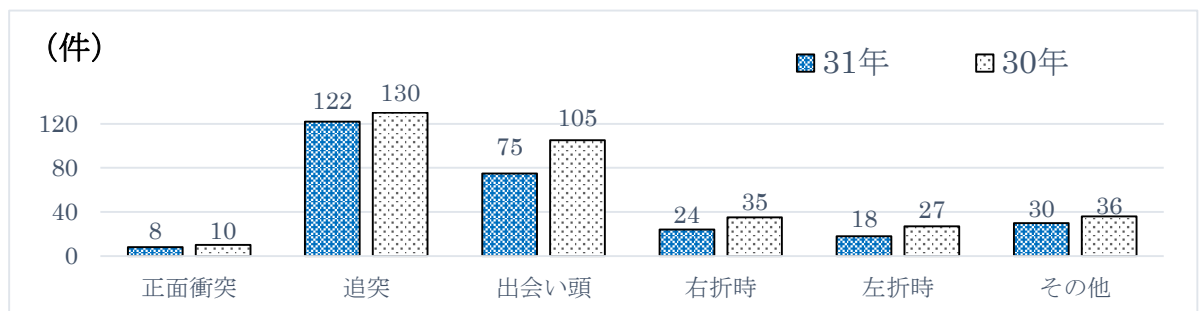
## 7 事故類型

### (1) 人対車両 (計 54 件)



○ 横断中(横断歩道及びその付近、その他横断中)の事故は計 36 件で、人対車両の事故の 66.7%を占めています。人対車両の事故は、重傷事故に発展する可能性が高いので、特に交差点における歩行者優先を徹底して下さい。

### (2) 車両相互 (計 159 件)



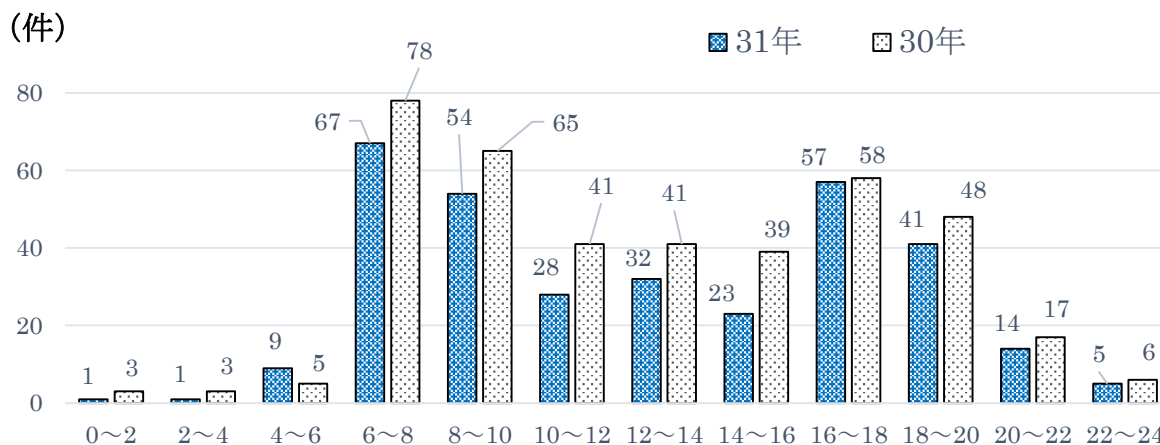
○ 追突の 122 件 (36.8%、前年比-8 件) が最も多く、事故類型の 3 分の 1 以上を占めています。次に多いのが出会い頭の 75 件 (22.6%、同一-30 件) です。出会い頭事故は重大事故に発展する可能性が高いので注意して下さい。

### (3) 車両単独 (1件)



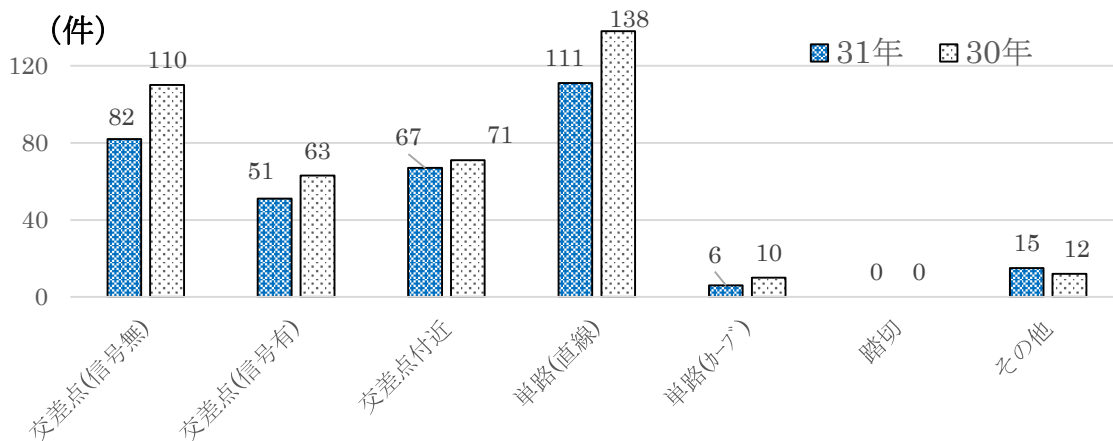
○ 車両単独事故は1件（前年比-1件）でした。

### 8 時間帯別



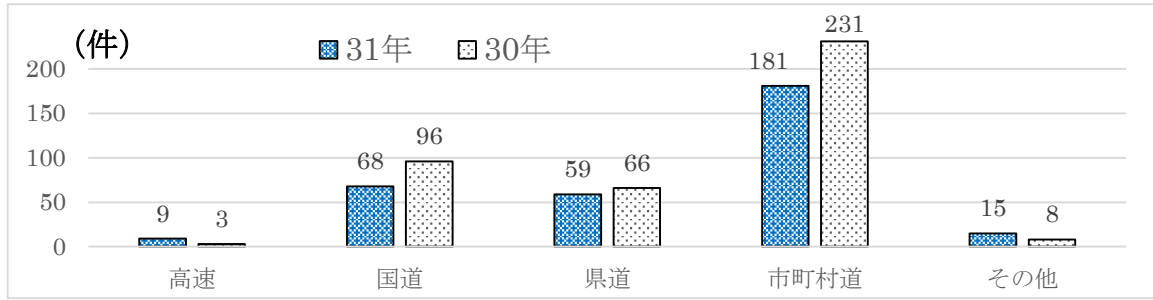
○ 時間帯別で最も多いのは、6時から8時までの67件（20.2%、前年比-11件）でした。次いで多く発生したのは16時から18時までの57件（17.2%同一件）でした。6時から10時までの時間帯に121件、36.4%の事故が発生しています。時間的な余裕を持った出勤や出発に心掛けて下さい。

### 9 道路形状別



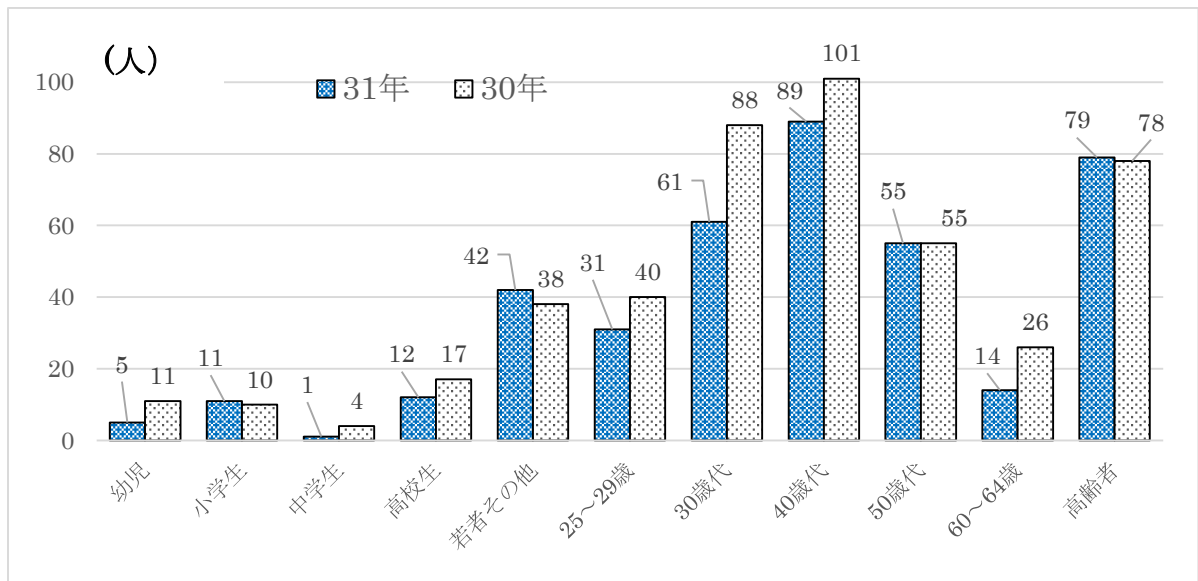
○ 道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて200件（60.2%、前年比-44件）でした。単路（直線）の事故は111件（33.4%、同一-27件）と双方とも減少しました。

## 10 道路別



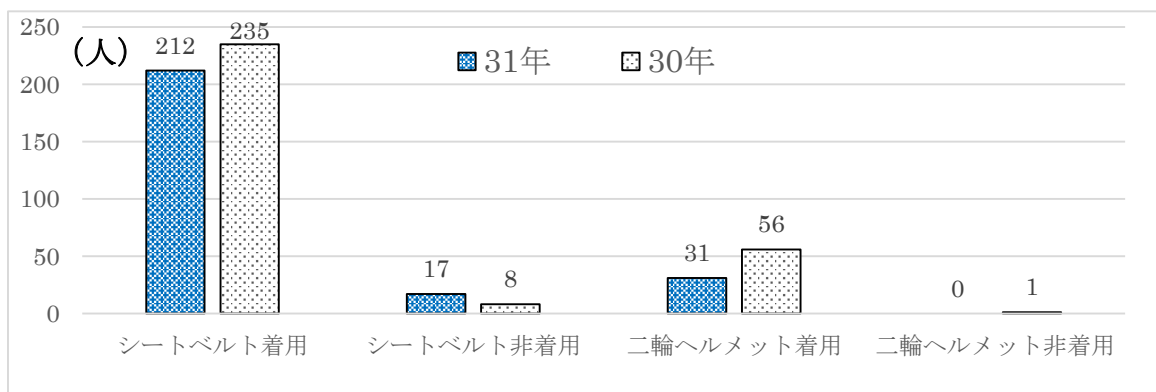
- 道路別では、市町村道が最も多く181件(54.5%、前年比-50件)、次いで国道が68件(20.5%、同-28件)、県道が59件(17.8%、同-7件)でした。

## 11 死傷者の年齢層別



- 死傷者の年齢層で多かったのは、40歳代の89人(22.3%、前年比-12人)、次いで高齢者の79人(19.8%、同+1人)でした。死傷者の総数が14.5%減少しているのに対し、高齢の死傷者は1人増加していますので、引き続き高齢者保護に努めてください。

## 12 シートベルト・ヘルメット着用状況



- 四輪車の死傷者の内、シートベルトを着用していたのは212人(92.6%)、非着用は17人(7.4%)でした。二輪車の死傷者の内、ヘルメットを着用していたのは31人(100%)、非着用の者はいませんでした。